

「一部処方薬の保険はずし」 全面撤回に向け保険適用存続求める声を更に

12/4にオンライン署名43,021人 請願署名(紙)7531筆を提出

大阪府保険医協会や保団連は、いわゆる「OTC類似薬の保険はずし」に反対するオンライン署名に取り組む他団体・個人と合同で12/4に厚労省要請を実施し、合計21万3千超のオンライン署名と当会の請願署名7千筆超を厚労省等に提出しました。



厚労省・自民 保険収載維持を主張
維新 党内意見割れるも保険はずしに固執

同日に開かれた自民・維新の協議体で、自民党は保険収載維持の案を支持しました。しかし、維新はその後も薬剤自己負担の見直しで数千億円規模の削減を政府に要望しており、薬価削除に固執する一部議員は強硬な姿勢を示しています。

署名や医療現場・患者の声で、薬価削除の案は見送られる可能性が高くなってきました。保険はずしを全面撤回させるため、当会では引き続き署名運動等を行ってまいります。